NIIGATA INSTITUTE OF TECHNOLOGY

# NIIT広報

新潟工科大学 広報誌

2007 VOL.13 10.1

## 新潟県中越沖地震

7月16日(月)に発生した「新潟県中越沖地震」により、甚大な被害を受けられた皆様に心よりお見舞い申しあげます。また、本学に対して、多数の皆様方から、温かいご支援とお見舞いをいただき、厚くお礼申しあげます。

この度の地震では、本学も舗装面の陥没や建物のごく一部に破損等がありましたが、幸いなことに学生、教職員にけがもなく、教育、研究活動においても大きな影響はありませんでした。

9月末現在、復旧工事はほぼ完了し、また来春完成予定の福利厚生棟及び講義棟も、順調に工事が進んでおります。

本学では、震災直後から大学の専門を活かし、住宅耐震診断と相談を通しての被災者の生活再建支援や新しい街づくりプランの提案のほか、レスキューロボットによる復旧支援活動などを行なっております。

〔関連URL　http://www.niit.ac.jp/shinsai.html〕

## 本学の専門性を活かして、復旧支援活動に協力しています

### 被災者の生活再建を支援

建築学科の穂積秀雄教授は、新潟県中越沖地震により家屋が全壊、半壊した方々の相談にあたり、修復・解体から生活再建に向けてアドバイスを行いました。また、住宅耐震診断を通して、災害に強い街づくりへの提言も行いました。

### 柏崎市えんま通り商店街と協同で街づくり

新潟県中越沖地震で被害の大きかった柏崎市東本町のえんま通り商店街を立て直すために、大学と商店街が協同で街づくりに取り組んでいます。この取り組みは、建築学科の田口太郎准教授の申し出により実現したもので、商店主へこれからの再建への意向を取りまとめ、8月10日(金)にえんま通り商店街の「紺太」さんを会場に建築学科の学生が街づくりプランを提案しました。厳しい意見もありましたが、活気ある商店街を創ろうと邁進しています。

〔関連URL　http://www.niit.ac.jp/topics/2007/20070808_01.html〕

《次ページにつづく》

# レスキューロボットによる復旧支援活動に協力

福岡県北九州市のロボット開発会社、株式会社テムザックが開発したレスキューロボット「T-53援竜」が、新潟県中越沖地震の復旧支援活動のため柏崎市内で初めて出動しました。

今回の活動は、レスキューロボットを研究している機械制御システム工学科の大金一二准教授を通じて実現したもので、大学としても市内の被災企業との調整を図ったほか、ロボットの待機場所や一般開放の会場を提供するなどの協力を行いました。

「T-53援竜」は8月3日（金）、4日（土）の2日間、柏崎市西本町の文具店、小林文英堂の倉庫において倒壊した瓦礫の中から文具やテキストを搬出する作業を行いました。3日（金）には作業の様子が報道陣に公開され、大金准教授が記者から取材を受ける場面も見られました。

また、5日（日）には、本学学生駐車場において一般公開も行われ、小学生の親子連れなどが、運転員の指導のもと、標的の風船をつかみ取る作業を体験しました。

関連URL　http://www.niit.ac.jp/topics/2007/20070804_01.html
　　http://www.niit.ac.jp/topics/2007/20070806_01.html

## 受験生への特例措置について

新潟県中越沖地震、能登半島地震で被災した平成20年度入試の受験生に対して、以下のとおり特例措置を行います。

詳細については、入試広報課（TEL：0257-22-8188）へお問い合わせください。

・入学検定料を全額免除
・入学金を全額又は半額免除
・平成20年度年間授業料等を最大半額免除
・平成20年度学納金納入期限延長
　（前期分（入学手続時）：平成20年3月31日（月）まで
　　後期分（入　学　後）：平成21年3月31日（火）まで

## CONTENTS

P1 新潟県中越沖地震
本学の専門性を活かして、復旧支援活動に協力しています
・被災者の生活再建を支援
・柏崎市えんま通り商店街と協同で街づくり
P2 ・レスキューロボットによる復旧支援活動に協力
受験生への特例措置について
P3 第12回工科大祭
P4 オープンキャンパス2007
青少年のための科学の祭典 柏崎刈羽大会
P5 「柏崎工業メッセ2007」に参加
「かしわざき夢の森フェスタ」に参加
「かしわざき風の陣」でサンドクラフトを製作
P6 ロボカップ世界大会出場
先端技術研究会合同会社説明会を開催
P7 「SMOKERS' STYLE COMPETITION 2007」で入賞
ハルビン理工大学の客員研究員紹介
平成19年度公開講座
P8 内田理事長が藍綬褒章を受章
大学ホームページ・マスコットキャラクターのデザインコンテスト
編集後記

# 第12回工科大祭

今年で12回目を迎えた「工科大祭」が6月9日（土）に開催されました。前日の激しい雨により、メイン会場をコモンプラザから食堂・学生ラウンジに移しての開催となりましたが、当日はまずまずの天候で、同時開催した「青少年のための科学の祭典 柏崎刈羽大会」、「第1回オープンキャンパス2007」とともに大盛況となりました。

焼きそば、おにぎりなどを販売する飲食関係の店を中心に多数の模擬店が出店されたほか、○×クイズ、料理コンテスト、早飲み大会、軽音部ライブ、JAZZライブ、機械制御システム工学科のレスキューロボットデモンストレーション、物質生物システム工学科の分子模型展示、建築学科作品展などが行われました。

また、工科大祭恒例の「爆笑!? お笑いライブ!!」が行われ、神奈月、ダークホースの2組のタレントが出演しました。お笑いライブの後は、2組のタレントの司会によるビンゴ大会も行われ、会場となった講堂には大勢の人が詰めかけました。

〔関連URL　http://www.niit.ac.jp/topics/2007/20070611_02.html〕

## オープンキャンパス2007

6月9日（土）に第1回目のオープンキャンパスが開催され、例年の時期に加えて、初めての6月の開催でしたが、約60名の生徒、保護者にご参加いただきました。

当日は県内各地（新潟、長岡、直江津、柏崎の各駅）から無料送迎バスを運行し、県内全域から参加していただきました。

午前に行った大学概要説明、入試説明の際には、AO入試、推薦入試を意識している参加者が多い様子で、真剣に聞き入っていました。昼食をはさんで、午後からは学内見学、工科大祭のお笑いライブ観賞後、希望の学科に分かれての模擬実験を体験しました。

また、本学の学生も教職員とともに、受付、学内見学、誘導の担当や、模擬実験の補助を行うなど、オープンキャンパスを盛りあげていました。

なお、8月5日（日）に開催を予定していました第2回目のオープンキャンパスは新潟県中越沖地震の影響により中止とさせていただきました。参加を予定していた方には、大変ご迷惑をおかけしました。

〔関連URL　http://www.niit.ac.jp/topics/2007/20070611_01.html〕

## 青少年のための科学の祭典 柏崎刈羽大会

6月9日（土）に今回で9回目となる柏崎市教育センター主催の「青少年のための科学の祭典 柏崎刈羽大会」が本学を会場に開催されました。この催しは、科学技術の観察、実験などを通して、子供たちに科学を身近に感じてもらうことを目的としたもので、本学が共催し、会場の提供を行っています。

開場と同時に多くの親子連れが来場し、「アイスクリームだよ！全員集合」、「きらきらスライム」、「いろいろイクラボトル」などのブースで実験を楽しみました。

実験ブースの指導は本学の教員、学生のほか、小中学校の理科教員、市内の企業の人たちがあたり、各ブースには順番待ちの列ができ、会場となった講義室は熱気に包まれていました。

〔関連URL　http://www.niit.ac.jp/topics/2007/20070611_03.html〕

## 「柏崎工業メッセ2007」に参加

6月1日（金）、2日（土）に柏崎市のみなとまち海浜公園で開催された「柏崎工業メッセ2007」に本学から3ブース（広報、就職、産学交流センター）を出展するとともに大学院生、学部4年生の計7組が研究発表を行い、また、機械制御システム工学科の大金研究室がリモコン操縦ロボットの工作を担当したほか、イベントの受付も本学の学生が担当しました。

〔関連URL　http://www.niit.ac.jp/topics/2007/20070604_01.html〕

## 「かしわざき夢の森フェスタ」に参加

6月2日（土）にオープンした柏崎・夢の森公園において2日、3日の両日、「かしわざき夢の森フェスタ」が開催され、学生9名がスタッフとして参加しました。また2日の午後からは情報電子工学科の佐藤栄一准教授が『くるっと変身!電磁力』のテーマで、環境・エネルギーに関する体験学習を行いました。 両日ともに晴天に恵まれ、開園イベントに相応しい2日間となりました。

学生たちは、ごろりん広場でティピ（ネイティブアメリカンのテント）やロープ遊びのスタッフとして訪れた家族連れに説明をしたり、時には子供たちと一緒に遊ぶなど大忙しでした。

〔関連URL　http://www.niit.ac.jp/topics/2007/20070604_02.html〕

## 「かしわざき風の陣」でサンドクラフトを製作

5月19日（土）、20日（日）に柏崎市のみなとまち海浜公園で開催された「かしわざき風の陣」で建築学科の2年生が工学創造設計Ⅰの講義の一環としてサンドクラフトを製作しました。力作揃いで、会場に訪れた人たちの目を楽しませていました。

〔関連URL　http://www.niit.ac.jp/topics/2007/20070524_01.html〕

## ロボカップ世界大会出場

ロボット研究部　部長　廣神 成暁
（機械制御システム工学科2年　群馬県立高崎工業高校出身）

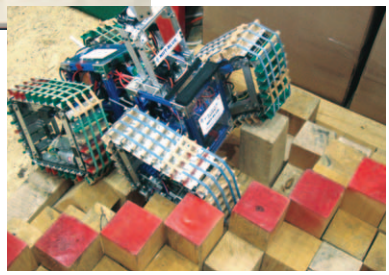
ロボット研究部は、大金研究室と共同で「NIIT-BLUE」というチームでレスキューロボットを開発しています。レスキューロボットとは、二次災害が心配される地震などの被災地で人間の代わりにレスキュー作業をするためのロボットで、世界中で様々なレスキューロボットが開発されています。

近日の活動の1つとして、5月3日（木）～5日（土）にロボカップジャパンオープン2007（大阪大会）、7月1日（日）～8日（日）にRoboCup2007Atlanta（世界大会）のレスキューロボットリーグに参加しました。大会の主な競技内容は、地震などの被災地を想定したフィールド、例えば、がれきの代わりになる木材の破片や網、凹凸（ランダムステップ）、階段、坂などを乗り越え、マッピングをしながら制限時間内に多くのビクティム（被災者を想定した人形）を探索するという競技です。

大阪大会に出場したロボットは、受動変形クローラが付いた農地用のロボット「BLUE-A1」でした。受動変形クローラとは、障害物からの反力により変形し、乗り越えるクローラです。このクローラにより、操縦者は前進の操作をするだけで障害物を乗り越えることができます。しかし「BLUE-A1」は農地用に開発されたので、ランダムステップなどの起伏の激しい障害物は想定していないため、満足に越えることができませんでした。しかし、農地に起こりうる大きさの障害物は乗り越えることができました。

その後、世界大会に向け、大きな段差を乗り越えることができるようクローラをひと回り大きくし、受動変形をさらに引き立てるため本体中央にゴムのチューブを入れるなどの改良を加え世界大会に臨みました。しかし、こちらの準備不足により満足に動かすことができませんでした。世界大会は上位10チームが準決勝に、準決勝の上位6チームが決勝に出場することができるのですが、私たちのチームは11位という結果で予選敗退してしまいました。上位にはタイ、日本、ドイツ、イラン、オーストラリアのチーム、中にはイラン、スウェーデンのチームもいました。

世界の機体を見ると基本的に機体は大きく、カメラを長いアームの先端に取り付けているチームや、能動的な変形によりスムーズに障害物を乗り越える機体など様々でした。しかし、新潟県中越沖地震を体験し実際の被災地を目の当たりにすると、実際の被災地はロボットが入り込める隙間は少なく、今現在大会で再現されているフィールドとは全く違うものでした。そして、現段階のレスキューロボットは、実際の被災地で使用することが不可能なのではないかと思います。ですので、被災地で得た経験と知識を生かし、今後のロボット製作に役立てていきたいです。



## 先端技術研究会合同会社説明会を開催

新潟県内の研究開発型企業で構成する先端技術研究会（会長:金究武正・山勝電子工業（株）社長）主催の合同会社説明会が6月27日（水）、本学学生を対象に学内で開催されました。

この説明会は、同会会員企業64社のうち、来春卒業・修了予定の学生の採用を計画する企業16社により行われました。昨年は9月の開催でしたが、今年は、より多くの学生を採用したいという会員企業側の意向により時期を早めての実施となりました。

出席した学生たちは、各企業の人事担当者などから会社概要の説明を受け、仕事内容などについて積極的に質問していました。

先端技術研究会は昭和58年9月、全国の異業種グループや経営者との交流を目的に設立された研究会で、本学設立に際しては礎となり、開学後も卒業生の採用や共同研究などを通じて本学にとっても心強い存在となっています。

〔関連URL　http://www.niit.ac.jp/topics/2007/20070627_01.html〕

## 「SMOKERS' STYLE COMPETITION 2007」で入賞

建築学科のサークル「SINME」を中心とするメンバー（3年 長井和樹さん、4年 遠藤智也さん、2年 吉川雄輝さん、4年 岩淵康弘さん、大学院博士前期課程2年 竹節俊介さん）が、実際の空間において実現を前提とした「分煙」のアイディアを募集する「SMOKERS' STYLE COMPETITION 2007」（主催：日本たばこ産業株式会社）の作品例部門に応募し、佳作を受賞しました。

全入賞作品の4作品中、唯一の学生の受賞となりました。

〔関連URL　http://www.niit.ac.jp/topics/2007/20070913_01.html〕

## ハルビン理工大学の客員研究員紹介

5月からハルビン理工大学の趙中楠（Zhao ZhongNan）先生を客員研究員としてお迎えしました。趙先生の自己紹介とメッセージをお届けします。

My name is Zhao ZhongNan, a scholar from Harbin University of Science and Technology. I have got Master's degree of Engineering, and my major is Computer Network Engineering. Now I am working together with Professor Kanai and Professor Miyazawa. The research will last 10 months, and should be a good process.

The city and the college give me some deep impressions. Firstly, Kashiwazaki is not a big city but clean, quiet and has charming fresh air, so it's a good place to live in. Secondly, the citizens are very warm-hearted and friendly. They are hardworking, earnest, and have professional pride and quality in their own position. I believe the city should be better and better due to all the people's endeavor. Finally, the college（NIIT） is equipped with advanced facilities and researchers have high level scientific research ability. It is a big pleasure for me to have the opportunity to do my research here.

PS: My personal hobbies are reading, climbing mountains, and excursion, especially, athletics outdoors.
Contact me: x11windows@yahoo.com.cn

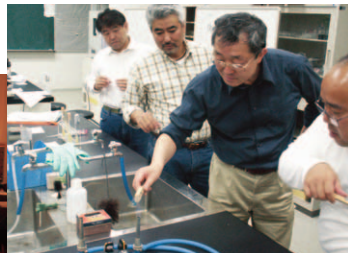
## 平成19年度公開講座、前期日程終了

平成19年度公開講座は、前期日程の2講座が終了しました。

技術講座・実験編　前期は、生物情報工学研究会の小野寺正幸准教授（物質生物システム工学科）が講師を務め、納豆から納豆菌の分離、ヨーグルトから乳酸菌の分離をするなどの実験を行いました。

また、教養講座は、柏崎エネルギーホールを会場に判澤純太教授が講師を努め、北東アジアの現況と将来を国際関係論を通して、読みときました。

後期日程については、技術講座・実験編　後期は、都合により次年度に延期とさせていただきましたが、新潟県立看護大学との提携プログラムである技術講座・講義編については、9月20日（木）から開講しており、10月25日（木）までの毎週木曜日19時から20時30分まで本学のS1講義室5で開講しています。



前期日程の講座のテーマと受講者数、規定の回数を受講した修了者数は次のとおりでした。

★技術講座・実験編 前期「発酵と微生物」
講師：小野寺 正幸　准教授
5月9日～5月30日（全4回）本学 物質生物第1学生実験室
受講者：20名　　修了者：18名

★教養講座
「激変する北東アジアの現況と将来をどう読む?
～新潟という『地方』から国際関係論のスコープを通して観る～」
講師：判澤 純太　教授
6月12日～7月10日（全5回）　柏崎市エネルギーホール
受講者：27名　　修了者：18名

関連URL
http://www.niit.ac.jp/kouza/kouza_index.html
http://www.niit.ac.jp/topics/2007/20070531_01.html
http://www.niit.ac.jp/topics/2007/20070809_02.html

## 内田理事長が藍綬褒章を受章

4月28日(土)付けで発表された平成19年度春の褒章において、本学の内田力理事長(株式会社コロナ代表取締役社長)が長年の功績により藍綬褒章を受章されました。

この受章は本学にとっても誠に慶賀なことであり、心よりお祝い申し上げます。

〔関連URL　http://www.niit.ac.jp/topics/2007/20070502_01.html〕

## 大学ホームページ・マスコットキャラクターのデザインコンテスト

本学のイメージ向上、ホームページの充実を目的として、本学のホームページ、マスコットキャラクターの2部門のデザインを募集しています。応募資格はありませんので、どなたでも応募できます。

コンテストの概要は以下のとおりです。詳細については、ホームページ(http://www.niit.ac.jp/topics/2007/20070803_02.html)をご覧いただくか、入試広報課(コンテスト事務局)に問い合わせてください。

**○募集作品**

部門①：本学のホームページ
(トップページ、コンテンツ)のデザイン
課題・テーマ：第一印象が良い。見ているだけで心地良い。求めている情報が検索しやすい。

部門②：本学のマスコットキャラクター
課題・テーマ：思わず抱きしめたくなる愛らしさ。工科大らしくキリリとしたイメージ。
一目で工科大と分かるインパクトの強さ。

**○賞**

部門①
最優秀賞1点(賞金10万円)、優秀賞3点(賞金各5万円)

部門②
最優秀賞1点(賞金5万円)、優秀賞2点(賞金各1万円)

**○提出期限・結果発表**

作品提出期限
10月31日(水) 17時〈必着〉
※持参の場合は、月～金曜日(祝日は除く)の9時～17時に、コンテスト事務局(大学院棟2階 入試広報課)へ提出してください。

結果発表
11月上旬

表彰
11月中旬

**○送付先・問い合せ先**

新潟工科大学入試広報課(コンテスト事務局)　【大学院棟2階】
住　　所：〒945-1195 新潟県柏崎市藤橋1719
電話番号：0257-22-8188　FAX：0257-22-8226
Eメール：contest@adm.niit.ac.jp

**編集後記**

震災直後は電気や水が使えない不便な状況にありましたが、それを苦にせず自ら進んで研究室の復旧に努める学生、まちの復興支援のために真剣な面持ちで調査に取組んでいる様子など、普段に増して頼もしい学生の姿に勇気づけられた方は多いと思います。これからもそうした献身的な気持ち、決してあきらめない粘り強さを持ち続けて欲しいですね。(E.S.)

**発行**

新潟工科大学広報誌　第13号
平成19年10月1日
新潟工科大学広報委員会

新潟工科大学
〒945-1195 新潟県柏崎市藤橋1719番地
TEL.0257-22-8111（代表）
FAX.0257-22-8112
E-mail:soumu@adm.niit.ac.jp
URL:http//www.niit.ac.jp